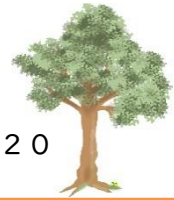




# 豊小だより

2020.2.20



## 新年に入ってからの子供たちの様子をお伝えします

2020年がスタートして、早1ヶ月半が過ぎました。かつて、先輩教員から「1(いち)月は行(い)く。2(に)月は逃(に)げる。3(さん)月は去(さ)る」と語呂合わせで、年度末の慌たらしさを自覚して教壇に立つよう指導されたものですが、まさにその通り。しかし、子供たちはしっかり学び、成長しています。本号ではその様子をいくつかご紹介します。

### ◆1月21日(火)助産師さんを迎えて(2学年・生活科)

2年生の生活科では、自分の成長を振り返り、これまでの生活や成長を支えてくれた人々のことや、これからの成長について考える学習「あしたヘジャンプ」があります。その中で、日赤の助産師の血澤さんをお迎えして、命を育む親の気持ちや自分の誕生の様子を知る学習を行いました。赤ちゃんのお腹の中での様子や妊婦の様子、助産師の仕事について、分かりやすくお話をしていただきました。実物大の赤ちゃん人形も抱っこしてみました。

MSさんの感想：赤ちゃんはお腹の中で大きくなって、お誕生日は赤ちゃんが自分で決めているのだと初めて聞きました。私のお母さんも「なかなか出てこなかった」と言っていました。

YYさんの感想：赤ちゃんは乗り物の音が好きだと教えてもらいました。血澤さんは何でも知っているんだなと思いました。



### ◆1月27日(月)薬物乱用防止教室(6学年・保健体育)

学校薬剤師の大野さんをお迎えして、6年生がたばこやアルコール、薬物が心と体にどんな害を及ぼすのかについて学習しました。どす黒いタールの実物を見たり、酒に酔うとどのような状態になるか特殊なゴーグルを使って疑似体験したり、薬物の常習性の怖さをスライドで見たりして、その影響についてしっかり学ぶことができました。

OYさんの感想：普段私たちが普通に過ごしていても、薬物を使用している人がいることが怖かったです。お酒やたばこも薬物みたいにやめられなくなったり、病気にかかってしまったりすることにびっくりしました。

TYさんの感想：たった1回の薬物で依存症になってしまったり、人に害を与えることをやったりするので、気を付けようと思いました。たばこ1本にも、どろどろしたものが入っていてびっくりしました。

MRさんの感想：薬物は夢もなくすものなので、絶対使用せず、自らその道に入っていく気をつけていきたいです。大麻、MDMA、LSDなどを使わない世の中にしたいです。



### ◆2月4日(火)わくわく交流デー(1学年・生活科)

令和2年度本校に入学する新1年生の一日体験入学会「わくわく交流デー」を開催しました。この日のために、1年生はどのような会にすると園児が豊小学校に入学することを楽しみにしてくれるか考え、準備してきました。1年生になってできるようになったこま回しや縄跳びの技を披露したり、教室で音読を聞かせたりと、園児の気持ちを慮りながら交流会が成功するよう頑張って活動しました。

UYさんの感想：ペアの子は知っている子でした。でも、わくわく交流デーのおかげでもっとも仲よくなった気分になりました。[お家の人から：しっかりとした1年生に成長したなあとお母さんはうれしいです。2年生楽しみだね。]

FOさんの感想：私はミニ先生を頑張りました。特に、丸付けをするのがドキドキしたけれど、上手く書けてうれしかったです。[お家の人から：頑張っ





て練習してとても楽しみにしていたわくわく交流デー！春からは先輩としてもっと楽しい学校生活になるといいですね。]

TYさんの感想：教室でプリントに名前を書いているのを見るととても「じ」がきれいだったので「上手だね」と言ってあげました。[お家の人から：ペアの子のことをよく見て声をかけてあげることができてすごいね。上手にお世話できました！]

### ◆2月12日(水)豆腐づくり体験(3学年・総合)

「食」をテーマに総合的な学習の時間を進めている3年生が、岸田食品の社長さんから豆腐づくりを教わりました。作る前に、豆腐や豆腐づくりの仕事について次々と質問しました。岸田さんの回答に「えー」「へーそうなんだ」と、驚きや感嘆の声を挙げていました。続いて、すまし粉とプロでも上手く固めるのが難しい本にがりを使用した2種類の豆腐づくりにチャレンジしました。



BKさんの感想：すまし粉の豆腐と本にがりの豆腐を作りました。どっちも作り方が難しかったので苦労しました。固まらないかとドキドキしました。

MAさんの感想：豆腐を作るのは簡単だと思っていました。でも作ってみたらとても難しく、豆腐が固まっているか心配でした。

YEさんの感想：スプーンでにがりや水をすくうのは難しく、ぴったりにはできませんでした。固まっているときは上の方だけぷるぷるしていました。



\*\*\*\*\*



### 親子読書へのご協力ありがとうございました

昨年11月読書月間中に、親子で同じ本を読んで感想を交流する親子読書にご協力いただきありがとうございました。親子で感想を書いたワークシートを図書室前の掲示板に掲示しました。その中からいくつか紹介します。前号でもお知らせしたとおり、子供たちは1週間に1冊以上本を読むことを目標に頑張っています。どんな本を読んでいるのかお子様と会話できると読書の楽しみが広がります。ぜひお声かけください。



4年TMさんの感想：ぼくは「どうしてかわかる？」という本を読みました。この本は世界のなぞかけ昔話で、どの話にも頭をひとひねりしなければ解けないなぞかけがありました。[お家の人感想：いくつかの話に分けてあるので交代で読みました。二人でいろいろ考えたことを話し、答えを見て「なるほどー！」と謎を解いていくのが楽しかったです。]

4年YKさんの感想：私が「ミッキーの魔法使いの弟子」を読んで面白かったのは、ミッキーが魔法をかけたほうきに水をくませて池があふれてしまったことと、止めようと思ってほうきを切ったら木のかけらの一つ一つに手が生えてほうきの数が増えてしまったことです。[お家の人感想：この本を読んで、一緒にディズニーシーで見たミッキーのショーを思い出しました。また家族で見に行けるといいね。]

5年IMさんの感想：「銭天堂(ぜにてんどう)」には「子豚のヨーグルト」「虹色水飴」「肩こり地蔵饅頭」など見たこともないお菓子が出てきます。つい食べたくなってしまふほど、かわいいお菓子が描かれています。この世界がリアルすぎて、私もいつか銭天堂に行ってみたいなと思いました。[お家の人感想：娘が好きな本を初めて読みました。主人公の不思議な体験に引きこまれ、読書を楽しめました。娘の他のお勧めの本も読んでみたいです。]

5年NKさんの感想：「こだわらニヤい心配しニヤい迷わニヤい『ブッダの言葉』」を読んで、「実際分かっていてもなかなかできないんだよな」と思うことが多かったです。現代で生きる私たちの考え方や生き方のヒントになる教え(言葉)がたくさんつまっている本でした。[お家の人感想：何かに行き詰まったり悩んだりしたときに違う見方や捉え方があるよと教えてくれる本でした。]

5年SSさんの感想：ぼくは「捨て犬・未来 天国へメッセージ」を読んで、大怪我をして動物愛護センターにいた犬を助けてあげた麻里子さんはとても優しい人だと思いました。犬たちは死ぬためだけに生まれたわけじゃないと思いました。[お家の人感想：すごく考えさせられる本でした。動物が好きな息子がこれで命の大切さが分かってくれるといいなと思いました。]

